

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもハウスゆりがおか		
○保護者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者への説明 ・運営規定等の説明 ・個人情報の取り扱い ・子どもの最善の利益の優先 ・家族からの相談 ・定期的なSNS発信 ・苦情に対するの体制整備	保護者の考えやニーズを基に子どもに合った支援方法を共に模索し、共通理解をもつよう努めている。 話しやすい環境、保護者の思い尊重し、些細な事でも伝えられる関係性を築けるよう心がけている	保護者が全職員に対し信頼をもてる関係性を築けるよう更なる努力を行っていく
2	関係機関や保護者との連携 ・関係機関への参画 ・子どもの状況を伝えあい共通理解	子どもに関わる全ての関係機関に連絡を利用前に必ず行い、いつでも相談等ができるようなシステムを構築している	当施設からのケアカンファレンスを行うことを検討し、関係機関とより連携を深めていく
3	事業所支援に対するの満足度	子どもが楽しみに通所できる活動内容や、子どもが希望する活動を提供。保護者が安心・安全に通所させられるよう配慮をしている。	子ども、保護者から希望する支援や活動の要望を小まめに把握し実現できる取り組みを構築していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラム、家族等が参加できる研修等の参加の実施及び整備	ペアレントトレーニングの研修が少なく、日程が合わずに参加できずにいる	研修だけでなく、書籍やインターネットを用いての研修ができないか模索する
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の子どもと活動する機会と方法	現在在籍している子どもが、コミュニケーションに対し配慮が必要な方が多い コミュニケーションがとれる子どもは、年齢層が高く一緒に活動する機会を作ることが難しい	どのような形で地域の子どもと活動することができるのか、果たして必要なことなのかを見極める 保護者の意見も取り入れながら方法を検討していく
3	第三者による外部評価	説明会への応募は毎年行っているが、毎年抽選ではずれてしまっており、どのようなシステムであるのかが分からない	今後も説明会の応募は行い、本部と連携しながら外部機関への評価をどのようにしていくか模索していく